

令和4年度 第1回 四万十町地域公共交通会議 議事録

- 開催日時：令和4年6月29日（水）11：10～12：00
 - 会場：四万十町役場本庁東庁舎 地域交流センター 多目的大ホール
 - 出席者：森武士（四万十町 副町長）、山本圭（国土交通省四国運輸局高知運輸支局 総務・企画観光部門 首席運輸企画専門官）、宮野広至（四国運輸局高知運輸支局 輸送・監査部門 首席運輸企画専門官）、伊良部直（高知県中山間振興・交通部交通運輸政策課 課長）代理出席：宅間裕修、吉岡真佐人（株式会社四万十交通 代表取締役）、三浦ひろみ（有限会社丸三ハイヤー 専務取締役）、國元豊美（窪川地区代表）、谷崎直子（十和地区代表）
 - 事務局等：川上武史、中川貴之、味元加奈、柴優樹（四万十町 企画課）
北村耕助（四万十町 大正振興局地域振興課）
富田努（四万十町 十和地域振興局地域振興課）
土居貴之、藤田順也（アドバイザー：合同会社えこ・まち研究室）
-
-

1. 開会

- (1) 会長挨拶
- (2) 資料の確認
- (3) 会議の成立について

委員9名に対して出席者8名で、過半数を超えているため、本会議は有効である。

2. 報告事項

【事務局から資料1～3を説明】（省略）

(1) これまでの取り組み報告・・・資料1

(2) 路線バス利用状況・・・資料2

(3) コミュニティバス利用状況・・・資料3

3. 協議事項

【事務局から資料4を説明】（省略）

(1) 路線バスの再編方針について・・・資料4

【質疑応答及び意見の提示】

（宮野委員）松葉川線の資料については、青い点（日野地地区）をってから赤い線を通る回る経路になるのか。赤い線は通らなるのかどちらか。

(事務局) 日野地橋を渡ってから青い点の方(日野地地区)を通り、松葉川温泉を経由して赤い線に戻ってくる。

(宅間委員) 下道線の実証運行の結果基準を満たしていないということであるが、基準とは何か。

(事務局) 国の補助金の要件で2人/便という基準がある。

(会長) ほかに意見がなければ路線バスの再編方針については原案のとおり承認ということによろしいか。

【異議なし承認】

【事務局から資料4を説明】(省略)

(2) コミュニティバス路線変更について・・・資料5

【質疑応答及び意見の提示】

(國元委員) お店があるので利用しそうではあるが。

(事務局：中川副課長) 乗降人数を調べたが、利用する方はいなかった。

(谷崎委員) コミュニティバスができたことで、十川の町中に買い物に行く人が多くなっている。

(会長) ほかに意見がなければコミュニティバスの路線変更については原案のとおり承認ということによろしいか。

【異議なし承認】

【事務局から資料6を説明】(省略)

(3) 令和5年度 四万十町生活交通確保維持改善計画・・・資料6

(会長) 本計画を承認ということによろしいか。

【異議なし承認】

4. その他

(谷崎委員) 公共交通空白地区について、八木地区は以前の調査で乗る人がいないということで対象から外されていたが、来年は免許を返納予定の方や障害のある方もいる。そういった方がいっとうなるのかわからないので心配をしている。

(國元委員) 個別の要望などで、ここにバスを通してほしい等の意見があると思うが、5年程経つと乗れなくなっている場合があるので、そういった要望があればすぐにニーズ調査にとりかかってほしい。

(事務局：富田十和振興局長) 十和地域は民生委員や区長が身近なところにいるので、その都度見直し前のタイミングで意見を伺い、見直しを行っている。八木については、利用をしような人はいたが、その人たちがいなくなってしまったため、町としては今のタイミングではないという判断をしている。将来的にはあり得るので、他のコミュニティバスの経路を変える等方法を検討していきたい。

(宅間委員) 窪川大正十和の高度な連携の取り組みの中で、現在、徳島県の牟岐線で JR に並行するバスについて、JR 切符を買えば利用できるという取り組み事例もあるので、そういったものを県も交えて考えていければと思う。利便性の向上により公共交通の利用者が多くなることで、予土線の存続等にもつながると考えられるので、検討していただきたい。

(谷崎委員) 広瀬の利用者の方から要望があったが、広瀬・井崎線では道の駅とおわで待ち時間がないため、道の駅で買い物などの用事ができない。せめて 10 分程度の時間を設けてほしいとのこと。

(会長) 國元委員からご意見があったとおり、ニーズ調査については今後対応していきたい。

5. 閉会 12:00